

# 【 会 議 録 】 (概要)

日時: 令和5年(2023年)4月27日(木) 18:30~20:00

会議名	令和5年度越谷市自治基本条例推進会議 第1回会議	場所	越谷市役所 本庁舎8階 第2委員会室
件名 議題	1 開会 2 あいさつ 3 議事 協議事項 (1)第5次総合振興計画策定プロセスの検証について (2)令和5年度 自治基本条例推進会議 今後の流れについて 4 その他 5 閉会		
資料等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
出席者	<b>出席委員</b> 中原副会長、江口委員、大久保委員、興津委員、刑部委員、鯨岡委員、滝澤委員、 横内委員、臼倉委員、小倉委員、中谷委員、崩口委員、上ノ原委員、小船委員 (14名) <b>欠席委員</b> 岡崎会長(1名) <b>事務局</b> 徳沢総合政策部長、野口総合政策部副参事(兼)政策課長、古海政策課調整幹 倉澤同副課長、黒澤主幹、原主任(6名)		
内 容	別紙 会議録(要旨)のとおり		
●合意・決定事項等			
・第5次総合振興計画策定プロセスにおける、自治基本条例の適切な運用について「十分」と評価した。			
・第7期推進会議の活動の報告として、報告書を作成することとし、令和5年度第2回会議からは、報告書について協議することとした。			
・令和5年度第2回会議を7月31日(月)午後6時30分から開催することとした。			

# 会議録（要旨）

## 1 開会

## 2 あいさつ（副会長）

皆様、こんばんは。本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

本日は、第5次総合振興計画策定プロセスの検証と、令和5年度自治基本条例推進会議の今後の流れについて協議してまいります。本日も岡崎会長はご欠席とのことで、会長不在とはなりますが、皆様から忌憚のないご意見をいただき、最後までご協力を賜りますようお願い申し上げます、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。

本日もよろしく願いいたします。

## 3 議事

### 協議事項 「第5次総合振興計画策定プロセスの検証について」

- ・政策課から「第5次総合振興計画概要版」、【資料1-1】「第5次越谷市総合振興計画策定における「参加」「協働」「情報共有」の取組みについて」及び【資料1-2】「参加・協働・情報共有の取組み内容（詳細）」に基づき説明。

（議長） 策定プロセスの検証に入る前に、協議の進め方を決めたいと思います。まず初めに、先ほどの説明に対する質疑を行った上で、次に、条例が適切に運用されているかどうかを協議し、最後に、会議としての評価をまとめるという流れで進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

（委員） 異議なし

（議長） もう一点、会議としての評価のまとめ方ですが、先ほど説明があったとおり、前回の指標による検証と同じように、条例が適切に運用されているかを「十分」、「概ね十分」、「どちらとも言えない」、「やや不十分」、「不十分」という5段階評価で行ってはどうかと思いますが、この点についても皆様いかがでしょうか。

（委員） 異議なし

（議長） それでは、そのように進めたいと思います。早速ですが、質疑に入ります。先ほどの政策課からの説明に対する質疑がある方、挙手をお願いいたします。

（委員） 第4次の際も、第5次で実施しているような市民参加の取組みを行っていたのでしょうか。

（政策課） 第5次から、新たに実施したものを申し上げます。「②団体・事業所アンケート」のうち、「事業所アンケート」については第5次で初めて取り入れたものでございます。また、「⑤若者まちづくり懇談会」についても、新たに取組んだものでございます。補足となりますが、「③市民懇談会」について、以前は広報紙でのご案内のみだったものを、「①市民意向調査」で、アンケートをお願いする際に併せて市民懇談会の案内を同封いたしました。

（委員） 「⑤若者まちづくり懇談会」を始めた理由と、参加者をどのように募集したのか、参加者の方々がどのような様子で、どのような意見が出ていたのか、教えてください。

（政策課） まず、始めた理由ですが、各方面から若い人たちの意見を取り入れた方がいいとの話が

出ており、このようなことが、実施する端緒となりました。それから、募集方法ですが、大きく分けて2つの方法で募集いたしました。まず、1点目に、市内の大学、高校へ依頼し、選出いただきました。2点目は、市内の18歳～24歳を無作為で抽出し、「①市民意向調査」の送付時に案内を同封いたしました。懇談会では、まず、越谷市に関するなくなってほしくないキーワードを挙げていただきましたが、「自然や景観」、「伝統」、「祭り」、「にぎわい」、等が挙げられました。また、新しく生まれてほしいキーワードも挙げていただき、「若者の活気」、「安全安心」、「多世代交流」、「多文化共生」、といったキーワードが出されました。

実施後、アンケートで参加者の皆さんから意見をいただきましたが、「全く知らない人たちとお話をするのが、最初は不安だった」との意見もありました。一方で、ワールドカフェ形式といいまして、少人数に分かれ、他のグループのメンバーとシャッフルして対話を続ける形式を取り、「知らない人たちの考え方、色々な考え方があることを改めて知った」という意見が非常に多くございました。人数こそ、もうちょっと多くの皆さんに参加いただければよかったと思っておりますが、やってよかったとも感じております。

(委員) これから越谷市を担うのは若者だと思いますので、若者の力を借りた取組みを、これからも実施していけたらいいと思います。

(委員) 「①市民意向調査」についてですが、こちらの回答率は、例年に比べて高いのか低いのかどちらなのでしょう。

(政策課) 越谷市では、5,000人規模で、毎年「市政世論調査」を行っておりますが、「①市民意向調査」の抽出人数については、この「市政世論調査」に合わせた数になっております。アンケートの有意性を確保するという意味合いからすると、5,000人というのは非常に大きな人数でございますが、なるべくその精度を上げるため、この数といたしました。一方で、回収率の理想は、大体6割程度だったところ、結果として4割でしたので、こちらについては今後改善しなければいけないと思っております。なお、第4次総合振興計画後期基本計画策定時の調査では、対象者数3,000人に対し、回収率は44%でしたので、前回よりも4ポイントほど下がっているという状況でございます。

(委員) 「③市民懇談会」の参加者の年齢層が分かれば教えていただきたいです。

(政策課) 年齢層ですが、一番多い割合を占めているのが70～79歳の24.6%、続いて50～59歳の20%、続いて60～69歳の18.5%となりますが、30～39歳が16.9%、40～49歳が9.2%、20～29歳も4.6%ということで、年齢によって差はありますが、全ての年代の方に、ご参加いただきました。

(議長) その他質問がある方いらっしゃいますか。

(委員) 【発言者なし】

(議長) では、特に質問がないようであれば質疑を終了します。

次に、皆さんの評価、ご意見をお聞きします。第5次総合振興計画策定における越谷市の取組みについて、条例が適切に運用されているかどうか、先ほどの5段階の「十分」、「やや不十分」などの評価とともに、その理由などもお伺いしたいと思います。ご意見のある方は、挙手をお願いいたします。

(委員) 先ほどの質疑の際にお聞きすればよかったのですが、「①市民意向調査」から「⑤若者まちづくり懇談会」において、現状の越谷に対する将来への希望などの意見が収集され、基本構想(案)が策定されています。その後、基本構想(案)は、審議会において検討され、パブリックコメントにもかけられましたが、再度、基本構想(案)に対する意見を収集するための「①市民意向調査」から「⑤若者まちづくり懇談会」のような同様の取組みを実施しなかったのは何故でしょうか。

(政策課) 初年度では、確かに市民のニーズや将来に対するまちの希望等を把握し、2年目に、実

際に初年度で集めたキーワードなどを基に、基本構想の素案や前期基本計画の素案を審議会や議会を通し、作成いたしました。審議会には初年度に実施した「④地区まちづくり会議」に参加された地区の代表の方々、「②団体・事業所アンケート」などにも関わられた市内で活動されている団体の代表者の方々に審議会の委員としてご参加いただいております。

- (議長) 今の説明を聞いて、条例が適切に運用されているかについては、どのように評価されますか。
- (委員) 取組み自体は、広く色々な立場の人を集め、非常に良いのですが、審議会の委員は確かにそれぞれ代表された方かもしれませんが、十分ではないのではないかと感じました。
- (委員) 私としても①～⑦までの取組み自体は、方向性として間違っていないと思っています。ただ、他市の事情が分からないので何とも言えませんが、例えばアンケートの回答率が40%程度であることや、市民の参加への働きかけが少し足りないのかなと思い、今回の条例の運用については「概ね十分」、「どちらとも言えない」程度だと考えました。
- (委員) 私は「十分」だと思いました。パブリックコメントについて、私に関わってきたものでは10件程度でしたが、基本計画で105件、基本構想で98件と、これだけの意見が出ているのは、越谷市民や専門家など計画策定に関わった人たちの成果だと思っています。そういう意味でも、参加、協働、情報共有の3つの理念をしっかりと踏まえていると思っています。アンケートの回答率については、「概ね十分」か「十分」の間ぐらいかと思いました。「市民懇談会」、「若者まちづくり懇談会」の報告書を読み、良い取組みをしていると私は思っています。
- (委員) 私も、「概ね十分」だと思っています。「⑤若者まちづくり懇談会」のような将来を担う若者が参加する取組みに力を入れて、その若者たちが、越谷に住み続けてほしいと考えています。
- (委員) 取組み自体は、非常に積極的にやっていて良いと思います。しかし、情報共有の点においては、全て市のホームページに掲載となっておりますが、実際にホームページへアクセスして見る人が何人いるのかは疑問に思います。ホームページに掲載する以外の情報共有の方法を考えるとというのも、必要ではないかと思えます。
- (委員) 「概ね十分」と考えます。新しい取組みとして、「⑤若者まちづくり懇談会」や「事業所アンケート」を行っている点や、「⑤若者まちづくり懇談会」や「③市民懇談会」で活発な議論が行われているようですので、「概ね十分」と評価していいのではないかと考えております。「十分」と言えないのは、アンケートの回収率が低いことや、現役世代や子育て世代の声が十分反映できていないと思われる点です。20代～40代声を聞く機会が全くなかったわけではないですが、積極的にそういった人たちが発言をする機会があった方が良かったと思います。結果として少なかつただけで、少なくとも機会はありましたので、「概ね十分」と考えております。
- (委員) 取組みとしては「十分」だと思っております。しかし、これだけの取組みをしているのに対し、情報共有という点においては、「不十分」に感じます。基本構想ができた段階で、団体の代表者を通じて団体の人たちへ普及してもらうとか、説明会や意見交換の場が持てれば一番良かったと思います。様々な取組みを経て、計画を策定してきたことを、もっと積極的にアピールもできたのではないかと感じます。
- (委員) 越谷市は、この先、在住外国人との共生を目指している市だと認識しています。難しいかもしれませんが、在住外国人の意見を取り入れる取組みも必要ではないかと感じます。
- (委員) 策定プロセスは「十分」だと感じています。先ほど、情報共有の方法についての話がありましたが、確かに私もこの総合振興計画だけでなく、他の政策においても、情報共有する場面が少ないという気はしています。しかし、自治基本条例の適切な運用という側

面からすれば、この策定プロセスは「十分」と思っています。お聞きしたいのですが、今回新たに若者をターゲットにした取組みをされましたが、自治基本条例を意識して取組んだことについて、所管課として何かPRがあれば、教えてください。

(政策課) 先ほどご意見をいただいたように、日本語を母語としない方たちとのまちづくり、いわゆる多文化共生は、今後、優先度が高い施策になってくると考えており、その方々へのアプローチの仕方についても、今後考えていかななくてはならない課題と考えています。また、新たな取組みと説明させていただきました「②事業所アンケート」において、越谷で事業を続けたいと希望する事業者が8割いらっしゃいました。そのような企業の方々の意思を大切に、施策に反映させなければならぬと改めて思いました。さらに「⑤若者まちづくり懇談会」は、総合振興計画にとどまらず、他の施策においても、幅広い若者の方の意見を聞くべきだと思っています。補足ですが、「③市民懇談会」においては、一時保育を実施しました。利用された方は、1桁程度に留まってしまっておりますので、もっと子育て世代の方からの意見をいただけるように考えていく必要があると思っています。今後は、リモート等を使用した、参加しやすい環境を整備することで、一定程度解決できると考えております。一方で、委員の皆さんからご指摘をいただきましたとおり、市民の皆さんにどのように情報共有し、市の取組みに関心を持っていたかが課題であると、非常に強く感じております。

(委員) 先ほどの話を聞いていると、複層的に計画策定をしたのだと思いました。そういった意味を含めて、この策定のプロセスは「十分」だと思っています。

(委員) 政策課からの説明や、委員の方の意見をお聞きし、評価としては「十分」、「概ね十分」、「どちらとも言えない」の評価が妥当かと思えます。策定プロセスにおいて幅広く意見を聴取しているところや、取組みの考え方を踏まえれば、「十分」なのではないかなと思います。

(議長) では、ここで会議体としての評価をまとめていきたいと思えます。ここまで様々な意見がございましたが、皆さんの意見を聞いていると、「十分」、「概ね十分」、「どちらとも言えない」が多いように感じますので、その3択で多数決を採りたいと思えます。自分が思う評価について挙手をお願いいたします。では、まず条例が適切に運用されているかについて、「十分」だと思われる方、挙手をお願いします。

(委員) 【挙手】

(議長) ほぼ全員ということですので、会議体の評価としては、自治基本条例の適切な運用については、「十分」と評価します。

#### 協議事項 「令和5年度 自治基本条例推進会議 今後の流れについて」

- ・事務局から【資料2】「令和5年度 自治基本条例推進会議 今後の流れについて」について説明。

(議長) ただいまの説明について、何かご意見やご質問はございますか。

(委員) 【発言者なし】

(議長) それでは、私たち第7期としましても報告書を作成することとして、次回の会議から報告書の作成に入っていくということでよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし

(議長) それでは、次回の会議からは、第7期推進会議の報告書について協議したいと思います。

#### 4 その他

- ・令和5年度第2回会議を令和5年7月31日（月）の午後6時30分から開催することとした。

#### 5 閉会